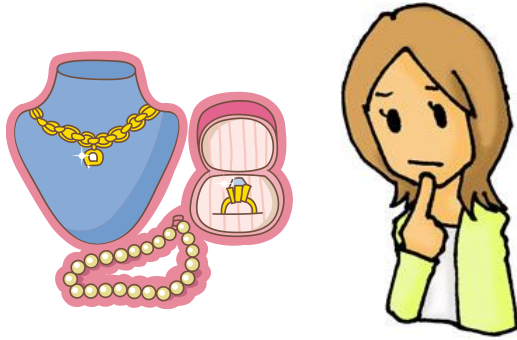


持出専用型管理システム

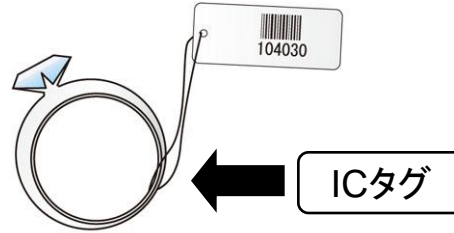
プラン① (簡易型システム) 1/2

1 持出商品の選定



社内にある数多くの商品の中から持ち出す分の商品を選定していきます。

2 ICタグ取付け作業



持ち出す分のすべて商品に対して、ICタグを取り付けします。

3 J-Casへの登録



※同時にバーコードリーダーの使用も併用可能です。
※事前に基幹システムから在庫データをインポートしておきます。
※カスタマイズが必要です。

商品にICタグ取付後は、J-Casのリーダー機を使用して、J-Casに商品の登録を行い、同時に画面での登録を行います。

4 基幹へのデータ転送



●自動化した場合(カスタマイズが必要)
J-Cas側でデータをエクスポートし、基幹システムで取り込みます。

●手動作業の場合
J-Cas側の操作でCSV等のファイルをエクスポートし、人の操作で基幹システムにインポートを行います。

基幹システムに対して、持出商品のリストデータの受け渡し作業が必要です。

5 催事・展示会



催事・展示会では販売した商品のICタグを切り離します。

6 持返商品管理

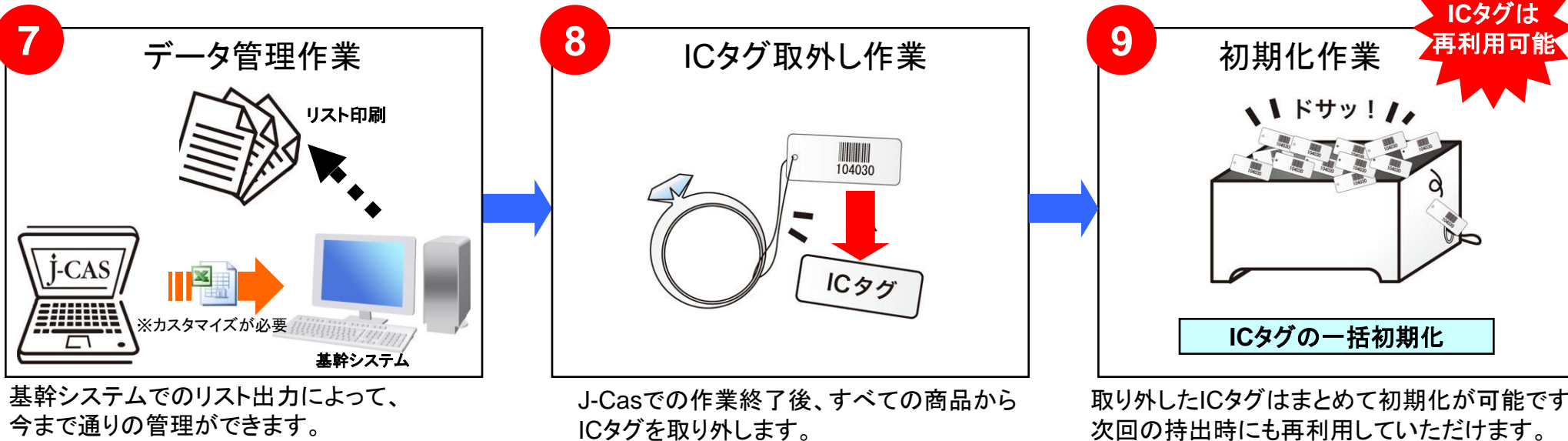


持ち返り後、J-cas Lightで販売・商品の有無等を管理します。

**大幅な
時間短縮**

持出専用型管理システム

プラン① (簡易型システム) 2/2



持ち出し専用型管理システム(プラン1)に対する導入メリット及びコストパフォーマンス

- ICタグ管理により、1つずつのバーコード読み取り作業が無くなった分、業務効率化により管理の時間が大幅に短縮できます。
- 当プランの場合、初期導入費が最小限に抑えられます。
- 今後のICタグ管理の展開による、基礎が形成されます。

持ち出し専用型管理システム(プラン1)に対する注意事項

- 持ち出す分の商品に対して、ICタグを取り付ける作業が必要となります。また、1つの商品につき既設のタグとICタグの2枚が付く形式となります。
- 基幹システムのデータ連携は行っておりませんので都度、データのエクスポート・インポート作業が必要となります。

システム導入対象商品

- 据え置型リーダー機 台数分
- J-cas Light EX1(持ち出し専用版) 1式

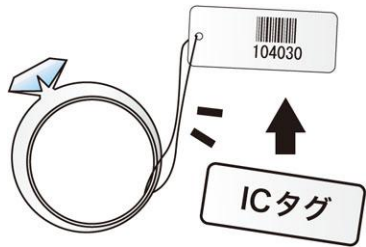
- ICタグ 必要枚数分
- ソフトウェアライセンス 台数分

※J-cas用サーバー及びPC、サーバー用ソフトは別途必要です。

棚卸対応型管理システム

プラン② (全在庫管理型システム) 1/2

1 ICタグ取付け作業



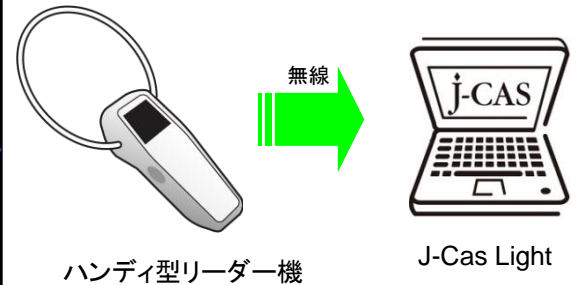
入庫した商品や持ち出しの際、商品に対してICタグを取り付けていきます。

2 バーコード・ICタグ読み込み作業



ハンディ型リーダー機で商品のバーコードとICタグを、1回の動作で情報を読み取ります。

3 J-Casへの登録



※ハンディ型リーダー機のソフト側のカスタマイズを行います。
ハンディ型リーダー機には無線機能が搭載してありますので、読み取ったデータはほぼリアルタイムにJ-Casへと転送いたします。

4 商品の持出棚卸管理

**大幅な
時間短縮**

箱ごとOK!!



基幹システム

持出の場合は、専用リーダー機で一括読み取りができます。同時に基幹への登録も行います。この時点で棚卸も格段にスピードアップします。

5 催事・展示会

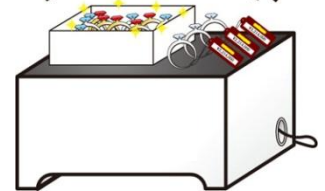


催事・展示会では販売した商品のICタグを切り離して、保管しておきます。

6 持返商品管理

**大幅な
時間短縮**

箱ごとOK!!



持返後、J-cas Lightで販売・商品の有無等を管理します。もちろん一括読み込みします。

棚卸対応型管理システム

プラン② (全在庫管理型システム) 2/2



J-Casで読み取った情報は基幹システムへ送信され、在庫状況の連携が可能です。

基幹システムでのリスト出力によって、今まで通りの管理ができます。

余ったICタグはまとめて初期化が可能です。次回の使用時にも再利用していただけます。

棚卸対応型管理システム(プラン2)に対する導入メリット及びコストパフォーマンス

- ICタグ管理により、1つずつのバーコード読み取り作業が無くなった分、業務効率化により管理の時間が大幅に短縮できます。
- 基幹システムと在庫データの連携を行いますので、伝票処理や在庫管理等は今までどおりの作業で可能です。
- 毎月末の棚卸し時について、大幅な時間短縮及び必要人員を削減することができます。
- ICタグ管理の展開によって、複雑な業務の流れをほぼカバーすることができます。

棚卸対応型管理システム(プラン2)に対する注意事項

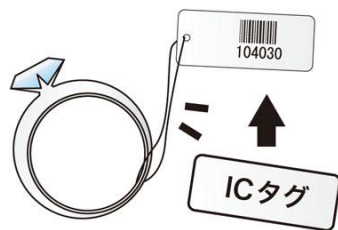
- ほぼすべての商品に対して、ICタグの取り付け作業及びバーコードの読み込みが必要となります(初回のみ)。
- 既設の基幹システムのカスタマイズが一部必要となります(初期導入時のみ)。

システム導入対象商品

- 据え置型リーダー機 台数分
- J-cas Light EX3(棚卸対応版) 1式
- ハンディ型リーダー機 台数分
- ソフトウェアライセンス 台数分
- ICタグ 必要枚数分
- バーコード・ICタグ読み込みソフト
- ※J-cas用サーバー及びPC、サーバー用ソフトは別途必要です。
- ※基幹システムのカスタマイズが別途必要となります。

ICタグ登録手順例

1



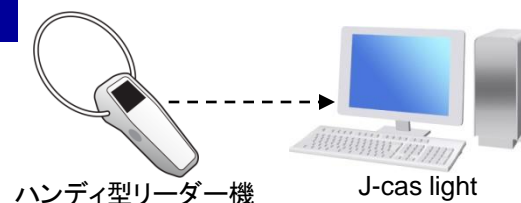
通常の商品値札にICタグを挟み込んで商品を用意します。

2



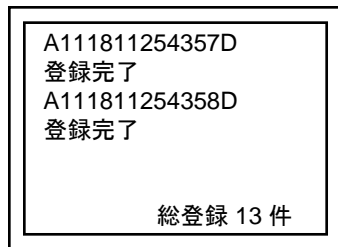
商品のバーコードとICタグを1つのペアとしてハンディ型リーダー機で読みます。

3



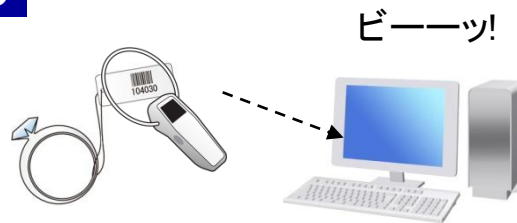
ハンディ型リーダー機とパソコンは見えない線で結ばれていて、読み取ったデータは瞬時にパソコン側(J-cas light)に送られます。

4



J-cas light側では送られたバーコードとICタグの情報を使い、商品の登録処理を行います。

5



商品情報が未登録なものや、使用中のICタグが含まれていて処理が続行できない場合には、音で処理の中断を促します。

6



今後は大量の商品をICタグで一括して素早く読み取ることができるようになり、持出や棚卸にかかる時間コストを大幅に削減することができます。

正確さと高速さで快適なICタグ商品管理をご活用ください。